

北辰会報

第27号

発行者 大阪府立北野高等学校
 定時制課程同窓会北辰会
 会 長 岡 田 多 聞
 編集者 事務局長 前 田 直 人
 事務局 〒666-0262
 兵庫県川辺郡猪名川町伏見台1-2-97
 TEL・FAX 072-766-4170
 maeda-inagawacho@gaia.eonet.ne.jp

印刷 株式会社グラフィカ
 DTP TEL 06-6765-1210 FAX 06-6765-1211
 デザイン info@graphic-a.net

まだまだ続く新型コロナウイルスの影響 皆さん! 気持ち折れず今の生活を楽しんで!!

北辰会会長 岡田 多聞 (18期)



新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2020年は北辰会活動も自粛、停滞を余儀なくされ、幹事会や同期会、同好会行事もことごとく中止せざるを得ませんでした。この状況は高齢化が進む北辰会員と北辰会にとって致命的になりかねません。

これらの中にあって事務局では、活動を停滞させないよう7月の新型コロナウイルス感染が一時収まった時期に拡大常任幹事会を開催し、幹事会議案を会長特別決済として承認し活動が継続できるようにしました。

また、この間北辰会報26号を発行して会員皆様に届けるとともに、北辰会HP活動を強化し、賛助金運動を推進して来ました。賛助金運動は皆様のご協力・ご支援により目標を達成することが出来ました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年の会報挨拶で、『北辰会では会報の発行、「北辰会HP」～北辰会の広場～掲載、「北辰会声の便り」、同期会ではそれぞれが電話などで連絡を取り合ってください。』とお願い致しました。行事等が開催できない今、その状況は変わっていません。情報を交換し結束を維持しましょう。身近なこと、近況など気軽に事務局に寄せてください。北辰会HPを利用して情報交換しましょう。

昨年、アメリカ合衆国に40年間在住の23期女性から便りが届きました。彼女は最近「北辰会HP」を知り、望郷の念からむさぼるように読み、多くの感想文と賛助金を届けて頂いています。本当に嬉しい事です。75歳から再度の高校生活が始まったのではないかと思います。

今年も北辰会幹事会は開催の見通しが立ちません。その中で事務局を中心に「北辰会HP」による情報発信など、出来ることから会員の絆を強める活動を続けます。皆様も視野を広く持ち、気持ち折れず今の生活楽しんでください。健康で文化的な日々を送られること祈っています。

目 次

会長からの挨拶	1	新井さんの微笑み(5)	13
校長からの挨拶	2	この人あり(2)	14
教頭からの挨拶	3	事務局からの報告	18
皆様からのたより(1)	3	賛助者のご芳名	20
この人あり(1)	6	2020年賛助金運動のお礼と報告	24
皆様からのたより(2)	12		

着任のご挨拶 絆



あまの まこと
大阪府立北野高等学校 校長 天野 誠

大阪府立北野高等学校北辰会の会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。教育庁に行かれた萩原校長の後を受け、校長に任命されました、天野 誠です。どうぞよろしくお願いいたします。

このご挨拶文を書くに際しまして、北辰会の皆様にお会いしてから書こうと考えておりました。といいますのも、歴代校長の挨拶文を見ておりますと、皆様方のお一人お一人のお姿が髣髴とされ、直接お会いしてからのほうが、実感のこもった文章になると思ったからです。しかし残念ながらこのコロナ禍では、その願いがいつ叶うか、杳として知れません。皆様方の心意気の一端は北辰会の出版物でも伺い知ることはできました。そして何よりも、感嘆しましたのは校歌の歌詞です。「人は家路に向うとき いさみて集う 文の窓」では親に頼るのではなく、学問に向かう心意気を感じ取られ、また「文化日本のいしずえを 築かん かたくいぎ共に」では日本の復興に寄与しようとする若き魂の息吹を感じます。まさに「本物の学びの場」を感じさせる内容です。現在の北野高校は名実ともに大阪を代表する学校であり、日本一の高校とも言えるでしょう。混沌とした世界を救う人材を輩出する学校です。そこには皆様方から、連綿とつながる国家を背負って立つ気概があります。そんな母校をお預かりする校長として、しっかりと皆様方のバトンを後輩たちに引き継がせようと日夜努力することをお誓い申し上げます。

現在の生徒達には「雲外蒼天」という言葉を送りました。皆様方がご覧になった「蒼天」を現在の生徒たちにも見せたいものです。皆様と皆様の母校、北野高校との「絆」を今後もしっかりと結び、北辰会の皆様のお力をお借りしながら、本校のますますの発展に寄与していく所存であります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

*事務局より

1. 4月中旬に、北辰会拡大常任幹事会として北野高等学校新校長先生を表敬訪問させて頂く日程調を調整しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により残念ながら中止の事態となりました。

早速校長先生より着任のご挨拶を頂きましたのでご披露させて頂きます。

2. 北辰会拡大常任幹事会のメンバーである29期竹本大鶴さんは母校始業式での校長先生の挨拶に深く感動され校長先生の座右の銘である「雲外蒼天」を書き書き上げたご連絡がありました。その書を校長室に飾らさせていただきました。その写真を紹介致します。

3. 雲外蒼天の意味

(インターネットで検索)

文字通りの意味は、〈雲を突き抜けたその先には、青空が広がっている〉ということ。転じて、〈努力して苦しみを乗り越えれば、素晴らしい世界が待っている〉といったことを指して使われます。



校長室に飾られた竹本さんの書

ご挨拶

府立北野高等学校 教頭 ^{ささき}佐々木 ^{りか}里佳

北辰会会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。令和2（2020）年度より教頭を務めております佐々木 里佳です。どうぞよろしくお願いいたします。

昭和60（1985）年より昭和63（1988）年まで、北野高校全日制課程の生徒として、皆さまと同じこの学び舎で3年間過ごしました。当時、全日制の生徒は5時完全下校でしたので、定時制の先生や生徒と交流できる機会はありませんでしたが、先生方から「定時制の生徒と、この学び舎をともに使わせていただいている。教室、校舎、すべて大切に使いなさい。」と言われ、定時制の生徒や先生方を思い、日々過ごしていたことを思い出します。

平成15（2003）年より英語科の教員として母校に戻りました。定時制の先生方が、一人ひとりの生徒に寄り添い、愛情を注ぎ、進路実現のために粉骨砕身、日々の教育活動を行われていました。この姿が、私の教員としての礎となりました。

昭和12（1937）年から平成21（2009）年までの72年の北辰の歴史の中で、心を磨き体をねり 久遠の真理を想い 文化日本のいしずえを築かん とする北辰の精神は引き継がれ、6000余りの有為な人材を世に輩出してこられました。この伝統と精神を、これからも脈々と受け継ぐことができますよう、先生方とともに努力を重ねる所存です。皆さまの今後の益々のご健康とご活躍を祈念いたしますとともに、どうぞこれからも北野高校を見守ってください。よろしくお願いいたします。



皆様からのたより(1)

北辰会の皆様へ 遥か、米国より

^{キミ}23期 ^{オア}KIMI ORR (旧姓 ^{かねむら きみこ}金村 紀美子)

♪はるけき流れ 大淀の しじまの夜と更け行けば
♪人は家路に 向うとき いさみて集う 文の窓

卒業して何十年という年月が過ぎると、校歌の1番と2番がごっちゃになっていることも分らずじまい。

ふとしたことで「北辰会HP」「北辰会の広場」

を見るチャンスに恵まれ、それを知りました。そして4年ごとに北辰会の同窓会があることも知り、大変驚きました。

申し遅れました、はじめまして、私は23期生のKIMI ORR（旧姓金村）と申します。

卒業以来の交信となりますので、このようなご挨拶を申し上げます。

私はアメリカに来て40年にもなります。その間、韓国でも何年か住み、またドイツでも10年ほど住んだことがあります。両親が健在の頃は日本にも毎年帰っておりましたが、両親が逝ってしまった後はそういうことも無くなりました。

遠くに在りて思うこと

外国に住んでいますといつも望郷の念に駆ら



私がドイツに移るということで、アトランタの日本領事館の領事が私が教師をしている学校のクラスを訪問してくださいました。(2015年)
本人：左から2人目

れ、思い出すのは日本のことばかりなんです。日本のニュースはアメリカのテレビで見えるくらいで、まして流行歌など聞くチャンスは皆無に近いです。たまに出てくる歌は、今頃誰も歌わないような古い歌ばかり。無意識に口ずさんでいるのは“♪会いたさ見たさに、、、♪”なんて多分その時もすでに懐かしのメロディーで歌われていたのを覚えています。考えてみましたら私、歌謡曲も今ではすっかり忘れてしまったようです。40年前に持ってきた日本のカルチャーをいまだ更新することなくそのまま抱えています。でも童謡なんかはよく歌いますね。ドイツに住んでいた時のことでした。仕事の帰り道、日本にいる友達や家族のことを思いながら、“♪ウサギ追いし♪”なんて口ずさみながら”Highway”を走っていましたら、突然涙がこみ上げてきて、大阪が恋しくなって泣きました。運転しているのに前が見えなくなって、往生したことがありました。特にドイツ人は”Highway”ではすごいスピードを出して走るのです。

また最近は何故か気が付けば“♪仰げば尊し、、、♪”なんて口ずさんでいるんですよ。卒業式の時は必ずこの歌をうたいましたね！友人や先生方との別れを惜しんで涙したものでしたが、この年になって“別れ”と聞くと何か“ギクッ”としたものを感じてしまいますね！

里帰りでの思い出・懐かしい「十三」

考えてみましたら、私が北野学校を卒業して以来、同窓会などに行ったことが有りません。アメリカに住んで一番羨ましいと思ったことはアメリカの高校卒業生には五年ごとに“Reunion (同窓懇親会)”といわれる同窓会があります。最

初このことを知った時、『なんて素晴らしいアイデアなのだろう』と感動しました。『日本にもこのような同窓会があればどんなに素晴らしいだろう』と親しかった友人の顔を思い浮かべながら無念に思っていました。

今から4年ほど前だったでしょうか、高校時代とても仲良しだった友達を探そうと心に決め、日本に着いた翌日の朝早く目的地の十三に向かいました。十三西の商店街のちょっと入ったところに“富かつ”というとんかつ屋さんがあったのです。あの頃と同級生、楠田訓子さんのご両親が経営されていました。ある時学校からの帰り路、楠田さんが私をその“富かつ”に連れて行って下さったんです。そこで“お茶づけ”を“ごちそうになったのを覚えています。お茶づけなのにエビの天ぷらが入っていたのです。“わさび”も一緒に入れて頂くなんて初めての経験でした。

その日、三国から十三に行く途中も、『あれは50年以上も前のことだからいまだにあの店が在るわけないのに』と思いながら、『いやいや仮に在ったとしても、こんな朝早くから開いていないかも知れない！』でもとにかく“富かつ”の店がそこにあるかどうか知りたかった。もし“富かつ”が見つからなければ絶体絶命！もう誰にも連絡できない！あれこれ考えているともう本当に緊張する思いでした。十三駅を降りて西の見慣れた広い信号を渡ったところが、私の目的地の商店街でした。その商店街を注意深く歩きながら回りを良く見ると、ほとんどの店はもう開いていた。多少変わった店はあったかも知れないが、私の知っている随分前の商店街とあまり変わっていないように思えた。

『ここでもない、あそこでもない』歩いている方向の右側に一つ、また一つ路地に出くわすたびにそんな思いで、、ところが突然歩いている方向の右側に帽子屋がみえた。そうであの頃もあの帽子屋はあった！『ここだ！』躊躇することなく、その帽子屋さんに飛び込んだ。

「この路地の奥に“富かつ”と言う、とんかつ屋さんがあったように思うんですけど」

「ああ、ありますよ。息子さんが引継いでやっておられますよ」若い方だった。

『じゃあ、この方も帽子屋を引継いでやってもらえるのだ!』 私の問いに快く答えてくださった。お礼を言ってそこを出たら目の前に“富かつ”と書いてあるほこりっぽいやい提灯が見えた。

あくる日の夕方お店が開いている頃に“富かつ”にまた行きました。中に入ってみると、まだ時間の早いせいか、お客様はまだいなかった。私が自己紹介をしたら「ああ、金村さん!! 訓ちゃんから『アメリカに行かれたよ』とよく聞いてます」 私がこの弟さんにあったのは彼が中学生の時であった。頭丸坊主でとても可愛かった。でも彼ももう70歳に近い、昔の面影は全くなかった。

同窓生との再会・「北辰会」を知る

その後2、3日して仲良しの楠田さんと堂本(旧姓柿本)さんと阪神デパート前で会うことが出来た。二人ともしっかりと高校時代の面影を持っておられた。それどころか顔が少しも年齢を感じさせないのには驚いた。35年ぶりではなかったかなと思います。堂本さんはいまだに現役でコンピューターを(パソコン教室)教えておられる。あっぱれだと思います!

その時、堂本さんから『北野高校定時制では4年ごとに同窓会が開かれている』と言うことを聞きました。また『23期生の同期会は理工系のクラスだけで行われている』と聞きまして、



るんですよ!

昨年の5月フロリダで主人の50周年の“Reunion (同窓懇親会)”がありました。同級生800人中、200人の参加者。ご夫婦で来ておられる方もたくさんいました。私も初めて参加しました。海辺のそばでダンスをしたり、ホテルの海辺のオープンバーでお互いにワインを交わし

たり、楽しいひとときでした。

70歳を過ぎても青春・「北辰精神」は世界を駆ける!

北辰会のウェブサイトも最近知ったわけで、むさぼるように拝見しました。青春時代って若い世代の人たちだけかと思っていたら、まだ70過ぎても夢と希望に燃え、着々と未知の世界に挑戦しておられることに感動を覚えました。やはり定時制高校を出ている方はやることすべてにガッツがある! 考えてみましたら中学校を出たときから、もう一人立ちをしていたのですね。この精神が私の人生にひたすら影響を与えてくれました。2人の彼女たち以外に知った方はいないのですが、人生まさにまだまだ青春を謳歌されている方々にいつの日かお会いできる日を夢見ながら、今日も新たな気持ちで頑張っていこうと思います。

今、大変不安な時、北辰会の皆様どうかコロナウイルスに感染されぬよう、ご自愛くださいませ。

(2020年8月16日)

健康で長く働こう

11期 たつとみ おさむ 達富 脩



私は今年の11月で卒寿(90歳)になりますが、まだ現役社長で頑張っています。

病気もせず、怪我もせず、健康で働いています。

健康でやるべきこと仕事があるということは“最高の幸せ”と有難く思っています。そして、更に良いことは、私の家内も娘二人も孫もみな健康であるということです。この年齢になってつくづく思うことは健康こそが一番大事であるということです。

お金はその次です。お金は貯めるものではなく人が喜ぶように遣うものなのです。また、人からひとへ順番に遣い回っていくもので、今回の新型コロナウイルスの関係で国民一人当たり一律10万円が路上生活者にまでも支給されることになりましたがこのお金こそ貯めておくのではなく無駄のないように全部遣い切るようにすれば良いのです。

これが最善の経済回復策であると思います。

遥か宮崎の地より

*事務局より

達富さんには、常に北辰会は熱いご支援を頂いています。ただお元気であるだけでなく「北辰V」～ぼたるに雪に～への寄稿文を頂きました。その文末に「北辰会是不滅なり」と項を起し北辰会への熱い想いの文とそれの英語訳が思い出されます。只々感謝の気持ちでいっぱいです。健康で長く働いてください。

ればきりがありません。これでこの国は本当に大丈夫？と思っておられる国民の皆様も多いのではないのでしょうか。

長期政権のおごりからくるタガのゆるみも加わり、明らかに政権末期の様相と言っても過言ではありません。

これ以上、この国のかじ取りをこの人たちに任せてよいのでしょうか？今こそ、国民の一人一人が政治の状況をきちっと見てどうすればいいのか考えようではありませんか。そして次の国政選挙で国民としての審判を下そうではありませんか

*事務局より

北辰会26期 直嶋正行（前参議院議員）さんより賛助金と共に「なおしまレポート」が寄せられました。参議院議員を退いても身の回りで直嶋さんの政治に関する情熱が伝わります。

コロナ禍と政治

26期 なおしま 直嶋 まさゆき 正行

安倍総理が国民の信頼を失いつつあります。元々、森友・加計問題での不透明な土地売却や書類改ざん・隠ぺい、さらには昨年の桜を見る会での政治の私物化と不適切な公金使用等々、多くの国民のひんしゅくを買ってきました。特に、森友との関係では、担当職員が自ら命を絶つという不幸な出来事まで生じたことは、ご承知の通りです。

それに加えて、この度の新型コロナ対策で



す。緊急事態と言いながら待てど暮らせどなかなか届かないアベノマスクや給付金、巨額の予算の執行を得体のしれない団体に丸投げの中小企業対策、一向に改善されないCPR検査、国会軽視の10兆円もの予備費など、挙げ

この人あり(1)

支 柱

23期 あらき 荒木 やすひさ 康久

平成元年（1989年・11月末記す）

過日、群馬県臨床検査技師会から学位取得の経過についての原稿依頼を受けました。まともなコースを進む人に比較してあまりにも長い時間、このために費やしてしまいました。博士の夢は高校卒業の頃ほのかに芽生えたといえます。その意味からすると、紆余曲折の連続ながら初心貫徹出来たことは嬉しい。

今後の生き方を考える上でこれまでを振り返ってみるのも時宜を得た節目と考え、思いつくまま記してみたいと思います。学位取得までの私の心の支えに在ったものを読み取っていただければ幸いに思います。

(旅立ち)

私の生まれ故郷は鳥取県の米子市に近い海岸沿いの片田舎でした。小学校5年の時、母親が乳癌で亡くなりました。今と異なり入院生活は付添人が食事の煮焚きを各病室の前の暗い廊下に並べて作っていたことを思い出します（1954～1955年頃）。しかもこれは国立大学附属病院でした。保険制度も完備した時代ではなく、数年の闘病生活で僅かしか所有していない農地は医療費のため人の手に渡ってしまったようです。続いて祖母もなくなりました。

長兄だけ高校は卒業していましたが、次の兄と姉は中学卒業と同時に就職しました。従って私の中学時代は父と2人暮らしでしたので当然、私も中学卒業と同時に一刻も早く就職することが親孝行と考えていました。

兄達が学費を送るから高校に行くことを強く勧めましたが、当時、兄達の悩んでいた学歴社会など知る由もありません。担任の先生も奨学金をもらって進学することを勧めてくれました。

しかし当時、思ったことは奨学金貸与される家庭は貧乏人の証のようで、父親に悪いと思い、進学より三菱電機の養成工（会社が独自で教育する技能校）に就職しました（1959年）。

担任の先生も『ここならお金を貰った上、教育までしてくれる。こんな素晴らしい所はない』と賞讃の限りで『地元の高校に行くより、よっぽど良い』と勧めてくれました。

鳥取県で数名だけ合格出来たことが周囲に対し幼いながら内心得意だったことを覚えています。それだけに現実の世界で知り得た大企業のなかの個人の存在、行き着く先は職工の親方でしかない将来の敷かれたレールを知るにつけ重苦しい雲行きでした。兄貴達が言っていた現実の姿が少しずつ不透明ながら視えてくるようになって来ました。

(定時制高校から大学へ)

養成工の教育中、一人の英語の教師との出会いが決定的な会社との離別を決意する発火点となりました。周囲をみると先輩達も昼間養成工に居ながら夜学の高校に通って大学に進学していることを知りました。私も仲間と語らって夜

学に通うようにしたのです。この高校は大阪府立北野高校であります。ここで学べた事がたぶん私の基本的な人生観を創ってくれた所と信じています。現在までの中で一番、キラキラ輝く濃縮した青春の一時期といえます。

昼間の仕事を終わるのを待って電車で行き帰りした日々、夜10時過ぎに寮に戻って食べる冷えた夕食、疲れてどうしても打勝てなかった睡魔、おだてられて力の限り走った運動会、恋愛、失恋、入浴代がなくて忍び込んだ学校のプール、アルバイトで昼間制の職員室でのお茶汲みや真黒になった輪転謄写機の仕事、昼間に勉強している生徒をどれほど羨ましく思えたことか。今、思い出してもはっきり当時の数々が呼び覚まされ、胸が熱くなってきます。

この北野高校で学べた誇りは私の掛け替えの無い財産といえます。地方から集まった境遇を同じくする多くの仲間。彼らから真剣に生きる術を学んだ気がします。さらに教壇に立つ先生は個性に溢れる魅力ある教師ばかりでした。逸材、森のごとしと映りました。大多数の先生方は年配ながら大学院、研究生の学生で夜、生活のため教員をしている方ばかりでした。ほとんどが現在、大学の教官になっておられます。どの先生を取っても私は憧れの的でした。大学に行く決心を本物にさせてくれたのは、これらの先生方に接した産物とはっきり言えます。

4年生（夜間は4年間必要）の時、進学クラスに入り、会社を辞めて少しでも勉強の時間を作ることに専念しました。隠れて貰った失業保険。小学生の家庭教師がきっかけで下宿、居候の身となり家族同様に生活の支援をいただいた韓国の方。幸いにして1964年岩手大学農学部に進学出来ました。

(大学での失望)

大家畜や農学が好きで進んだ道とはお世辞にも言えず、入学したものの悩みの連続でした。

相変わらず生活費稼ぎのアルバイトの縁は切れず、多種多様な職業を経験しました。今、思い出しても私の大学時代は心を揺さぶられる感受性を失っていたのか、当時を偲ぶ鮮明な記憶は乏しい。ただ博士号を取りたいという気持ち



は有りました。従って大学院に進むつもりで就職活動など何一つ準備していませんでした。卒業間近になって、群大医学部産婦人科の五十嵐正雄教授（当時助教授）の所で動物実験助

手を探しているが適任者はいないかということで、私が希望して卒業した春、群大に行きました（1968年）。目的は大学院に行く代りに働きながら学位を得ようと内心決めていたことは事実です。勤めながら研究していた高校時代の先生方を見ていたからです。

（失意と再出発）

農学部から見る医学部の異なる世界、あらゆる面に格段の差を感じ狼狽することばかりでした。いろいろ悩んだ末、ついに医学部の勤務も辞めることに決心し、産婦人科医局で知り合った現在の病院長の所で働くことにしました（1971年）。

病院で働く以上、何らかの資格が必要でメディカルセンターの専門学院に通学し検査技師になることを考え、昼間勤務して夜3年間通いました。ここで群馬県衛生研究所（衛研）の原田賢治、中嶋隆、両先生と知り合い、細菌学の手ほどきを受けました。他に血清学の講義を受けた亀田先生も群馬大学の微生物教室で学位を得られたと聞くにおよんで、私も専門学院の卒業を待って微生物教室（当時、三橋進教授）の専攻生にさせてもらいました（1975年）。

原田先生が定年退職されるまで、夜、ご指導を受けるため衛研に通いました。手始めに薬剤耐性プラスミドの分離から始めましたが、本を読んでもなかなか理解し難く、己の頭の悪さを嘆いたものです。しかし、誰も到達している目標であり、自分も必ず出来ると信じていました。

原田先生より衛研に就職しないかとお誘い戴きましたが断りして、先生が退職された後、丁度アメリカから帰国された井上助教授の指導

を受けるよう話があり、夜は引き続き群大の方に通うことにしました。

（分子生物学の波）

勤務先の病院（佐藤病院/高崎）で数年間かかり膀胱炎患者さんより採取した分離菌からプラスミドを分離し、それをまとめて邦文の処女論文を書きました。人の物真似もいいところです（1981年）。

やがてプラスミドもDNAレベルで論ずる時代に入り、疫学的な仕事だけではどうしても見劣りがしてなりません。だからと言って人目を引くような事はとても実力からして出来ませんでした。しかし、三橋・原田両先生から自分のルーチンワークの中にこそ良い仕事は発見されるものだとはよく聞かされていたので、尿酪感染症より分離したプラスミドの伝達と新しい薬剤耐性型を見つけてその酵素作用等を調べた英文の論文を書きました（1983年）。

この頃からもう夜といわず日曜日は研究室に行くものと決めていました。共著論文は他に数編ありましたが、三橋教授の退官までに目的（学位取得）を達することが出来ず、大変先行心細く思いました。毎日、毎夜、大学に通っても通っても実験の結果はうまく出るとは限らず、夜中疲れた身に“学位取るまでは”、“学位取るまでは”と鞭打って鼓舞していたのも事実です。夕食が10時、11時となることが常識となりました。

（遠くに感ずる博士号）

英語と独語の語学試験は合格できたものの、独語の感覚を呼び戻すためにテレビの初級番組を見たり、短かい基本構文を何度も何度も読み直して、人の数倍努力を費したような気がします。

“痩せ馬に鞭”といった毎日でした。肉体的な苦痛はこたえませんが、こんな生活が何時終わるのか何時抜け出せるのかという精神的な苦痛は頭から離れなくなっていました。

三橋先生の退官後、橋本先生が助教授から教授に就任され、仕事に対して分子遺伝学の要求度も更に増して来ました。年を取ってから覚えなくてはならない新学問はノイローゼになるよ

うな重圧感の毎夜でした。

井上先生のご指導で仕上げた論文も学位論文にしてもらえず、周囲の研究生達が次々に卒業して行くなかに有って、痛恨かつ焦燥の一時期でした。

朝方、帰宅して数時間の睡眠後、出勤することとも時々ありました。家族が私の健康を案じて夕食の弁当を研究室に届けてくれることもあり、特にな下の子供（小学生5年）が仏壇の前で『お父さんの実験がうまくいきますよう』にと祈ってくれた姿が脳裏をかすめ涙を禁じえません。

（意志あるところに道は通ずる）

橋本先生より仕事の内容を緑膿菌に移るよう命ぜられ、緑膿菌を専門にされていた伊予部助教授のご指導を仰ぐようになりました。

毎週、抄読会には英文の論文を数編紹介することを心がけるうちに、僅かながら他の人の論文要旨も理解出来るようになってきました。橋本教授からは相変わらず質問攻めに会い、答えに窮すると『荒木君、とても、とても』『学位にはほど遠いですよ』この言葉を何十回聞かされたことでしょう。その都度、深く落ち込みました。人間には持って生まれた能力があり仕方のないことだ。“運”、“鈍”、“根”、が必要だと己に言い聞かせ、私は“鈍”である以上、人の数倍努力すれば何とかなると“根”に徹しました。

緑膿菌染色体上に存在するカナマイシン不活化酵素を支配する遺伝子とプラスミド上に存在する同一酵素産生遺伝子の関係をまとめて学位論文にさせてもらいました（昭64年、1989）。教授から十分、学位論文に値すると言ってもらい、今では研究費も支払うことなく研究室に自由に出入りさせてもらっています。

（感謝）

高校卒業の時、芽生えた夢から数えること実に25～26年の歳月は過ぎ、微生物教室に籍を置いてから15年目にして迎えた春といえます。学位を得たら留学したいと心の片隅に持ち続けていましたので、機会をみて短期間でも最先端の現実を肌で感じたいと切望しています。

医療だけに限定するのではなく、地球汚染の解決とか、動植物環境における緑膿菌の利用応用はないものか、これから私に課せられた仕事のスタートと考えています。常に苦境の時、支えてくれたものは学位を得たいという己の欲求であり、高校時代の青臭い青春の思い出であり、生活を脱皮したい願いであったような気がします。近きにあつては上述した方々の他、名前を列記出来ないほど多くの方々の陰に陽のご支援を頂いたお蔭で目的が達せられたと感謝しています。

特に職場（佐藤病院）や家庭の多大な心の支えが有ったことを忘れることは出来ません（1989年・11月末）。

第74回日本書芸院展で最高の しゅうしょう『史邑賞』をいただいて！

29期 たけもと 竹本 はるお 治男（大鶴）

書道人生を送っている私にとって栄誉ある賞をいただき喜びに堪えません。

受賞作品は、江戸時代中期の儒学者、伊藤東涯の漢詩を170cm×70cmの画仙紙に横書きで仕上げました。

中国の北宋の時代の米芾（べいふつ）の書風を基調に、流動的かつ余白美を大切にしました。横作品は初めての試みで苦労しましたがチャレンジの大切さを知りました。

思えば40年余り前から毎年この「日本書芸院展」に出展してきました。

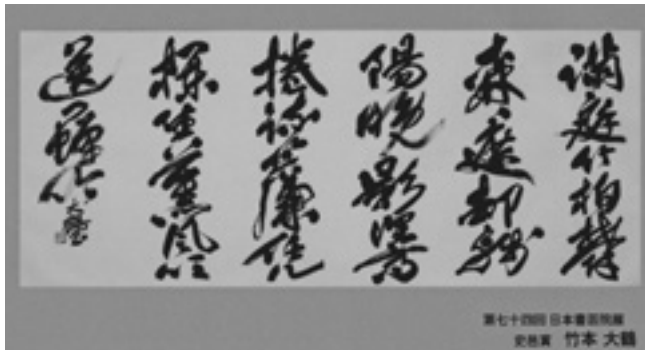
1946年創立の全国約1万2千人の会員を擁す全国屈指の書道展で「史邑賞（しゅうしょう）」は初代会頭の辻本史邑（1095～1957）の功績を称え設けられた最高賞です。

公募→2科会員→1科会員→無鑑査会員→2科審査会員→1科審査会員と6ランクの昇格基準があり1科審査会員の中から1291人が出展。73人の受賞と狭き門でした。



「継続は力なり」と言われていますが、目標に向かってコツコツ精進することの大切さを改めて痛感しました。

2020(令和2年)10月27日 記す



受賞作品



*事務局より

北辰会の事務局員である29期竹本さんが2020年第74回日本書芸院展において最高賞でもある「史邑賞」を受賞されたことは喜びに堪えません。ご本人が語られている様に、出展の際には700枚から800枚に及ぶ習作を重ね、出展に合わせて日夜精進されていたようです。40年の積み上げは北辰会が再出発した歴史より長く、道を極める努力に北辰会も学びたいと思います。北辰記念室に展示の「日展入選」の書、北辰会総会時の看板類の書は 竹本さんが書かれたものです。北辰会の宝物に成ることでしょう。益々のご健康とご活躍をお祈り致します。

2021年4月から新しい門出 ～ご褒美の道があるいています～

23期 はたじ ゆたか
畑地 豊

1. 私こと、3月末で退職してサラリーマン生活に終止符を打ちましたが、残務処理があり4月も延べ14日ほど出社していました。

従いまして実質フリーになったのは5月1日以降です。

通勤時間を気にして朝早く定刻に眠い目を無理やり奮い立たせることも無くなり、自由を謳歌している心境です。

77歳まで、そこそこ真面目に働いてきたこと



21.05.16 ジョギング&散歩コース/茨木市内・安威川 コース中には何の障害物も無く、危険性も無く歩きやすいです。片道8km有ります。春先は草花が次々と開花して目を楽しませてくれます。



21.05.15 バラ科(ノイバラ)茎にはとげがある。水辺に良く似合います。流れには体長80cmくらいの似鯉が群れを成して泳いでいます。その他、川鴨、おしどり、白鷺、が多く見られます。

に対するご褒美と思って、人生に感謝しています。

2. とは申せ、このまま毎日が日曜日では身体も頭脳も鈍って退化が早まるであろうと考えましたのと、もう少し実業界に身をおいて世間様と仕事がしたいなという気持ちが有りましたので、ミニ商社的な個人商売を始めています。

題して「食品包装機械 コーディネータ トヨコーポレーション 代表 畑地 豊」と命名しまして、一応名刺も作りました。

早速いくつかのサポーター様からお声をお掛けいただき、活発に活動を開始しています。

但し自分でスケジュールの調整が可能ですので、拘束感は全く発生の余地もありません。マイペースで計画しています。

考えてみますと時間が無理の無いように自由

に制御できますことと、嫌いな仕事はパスすれば良いので、これほど伸び伸びと出来る環境は、やはり「ご褒美と思って、人生に感謝し無ければなりません」このことにつけるのかなと思います。



従いましてこれまで以上に全力投球、恩返しのつもりでご奉仕させて頂きたいと思っています。

北辰会活動も注力させて頂きたいと存じます。

3. 今月からジョギング兼歩行も毎日2時間約13,000歩を実践中です。

コロナが落ち着いたら旅もしてみたいと思っています。

ではごきげんよう！ ありがとうございます。

おわり



21.05.15 焼きたてのパン屋さん(店名/シャルドン)いつも立ち寄って好きなパンを購入。テラスで珈琲と一緒に花を愛でながら至福のひと時です。最近はホットとアイスと紅茶を頂きます。この時季は「ばら」が綺麗に咲いています。ここで腹ごしらえをしてからジョギング散策に向かいます。



21.06.23 早くもヒマワリが登場しました。

令和2年度自治功労者表彰を頂きました

62期 ^{せんが}千賀 ^{しげよ}茂世

新型コロナの渦中にあり、先輩方にはリスクを負わないため、自宅で自粛されておられるのでしょうか。大阪の感染者数の更新が恐しい日々です。わたしは、相変わらず週に3日、羽曳野まで橿原線と南大阪線を乗り継ぎ高校に通勤しています。府立高校でも生徒たちや教職員に感染が広がり臨時休業が毎日出ています。私の職場は今のところ感染者が出ていません。葡萄畑の中にある穏やかな職場で、良かったです。



昨年の11月に奈良県自治連合会から功労賞をいただきました。奈良県知事賞と自治連合会会長賞合わせて奈良県中で55人の内、女性は私一人だけでした。自治連合会の植村会長から「女性がいてくださるのはとても嬉しいので、ぜひ今後も自治会長を続けてください。よろしくお願いします。」と激励されました。もうしばらく、うちの自治会、他の役員さんたちや会員の皆さんに支えて貰いながら頑張ろうと思っています。気鬱になりがちな時期でしたが嬉しい経験でした。先輩方は、もっと素晴らしい貢献をしておられるので、お恥ずかしいですが・・・それなりに頑張っていますので、ご報告させていただきます。

2021年1月26日

*事務局より

62期の千賀茂世さんが2020年11月10日に奈良ホテルで開催された奈良県令和2年度自治功労者表彰を受けられました。自治功労者表彰は、地方自治の振興、発展に資することを目的とし、永年にわたり地区の自治会長等として住民自治組織活動に携わり、住民自治の振興と住民の福祉増進に功績のあった方が表彰されます。令和2年度は知事表彰23人、県自治連合会長表彰26人、県自治連合会長感謝状6人に表彰状が授与され、女性は千賀さん1人だったそうです。

千賀さんは、在学中はもとより卒業後も周りの人や生徒

さんの相談相手になり、姉、母のように接して来られました。卒業後も学校の臨時職員となって元気な姿を見せておられるなど、遺憾なく能力、実行力を発揮されています。北辰会でもそのパワーを十分発揮され、会長にも目に留まる存在です。



皆様からのたより(2)

「途上人KITANO」と北辰魂

26期 うめたに たけし 梅谷 武

人が生まれて死に至る迄いろいろな人生の旅路がある。歳が一年たつ毎に成長、また、だんだんと身体も衰えてくる私達、今を生きるものは、このわずかな一生を無駄に過ごしてはならない。この一瞬一瞬を大切に生き有意義な人生を歩まねばならない。明日にしよう、明日にしようと思っていたら、何事も出来ない。そして心を磨き、北辰魂、北極星を自分に重ね、ここ北半球の、まさにこの地に自分が立つと言う気持ちで一年一年人生の旅路の階段を一步一步上がるがごとく、あの人の姿を見るだけで、輝いているな—と思われるように過ごしていく。これが正に「途上人」の真髄と思います。



私市、くろんど園地、ハツ橋のミズバショウ

4月5日、日曜日、自然観察のメンバーで私市のくろんど池へ、カタクリ、ミズバショウ、ショウジョウバカマ等を見に行った。天気も良く、綺麗な花々に出会い感動した。是非とも絵を描いてみたいと思い、4月10日金曜日に車で行き、くろんど池近くの駐車場に車を止め、約40分程



ミズバショウ



カタクリ

歩いてハツ橋の群生しているミズバショウを椅子に座り、肌寒い風が強く吹く中、震えながらなんとか描くことが出来ました。

日下の原始ハス

今日は天気も良く、ハスの花の咲き具合はと思ひ、約1600年前の五世紀頃から咲き誇っていたとされています、この花々、葉っぱをスケッチし細かい所まで観察をして描いてみました。



ハスの花

引っ越し前 最後の茶会

26期 おかだ みのり 岡田 美乃利

私も高齢となり、体が元気な内にと一大決心して2021年6月9日に西宮市に住む長男の近くに引っ越しました。引っ越し先はJR西宮駅から徒歩1分のマンションです。

私は定年後に富山の自宅の庭に茶室を建てて趣味の茶を楽しんで来ましたが、引っ越すに際して、それまで毎月行っていた仲間と最後の茶会を開きました。この内容が5月20日付け富山新聞に掲載されました。

大阪を離れて50年振りに戻って来ましたが、



何もかも変わっていて戸惑うことが多いです。

富山新聞 2020年5月20日掲載

先輩に厚くお礼を申し上げます。

2020年(令和2年4月17日)記



北辰会出版物



青春時代、ここにあり! 「北辰会の記録」を見て

29期 たけもと はるお
竹本 治男(大鶴)

新型コロナウイルス感染拡大で大都市緊急事態宣言が発令され、心身とも重苦しい毎日です。外出自粛の中、家にいる時間も多くなりました。

この機会に、本棚に保管している北辰会発行記念誌である「北辰会会員戦後50年の軌跡」、「ゆづへの星」、「はるけき流れ」、「ほたるに雪に」(上巻)(下巻)、そして「北辰会DVD」～燦然と輝く希望の星～を見ています。

DVDに写る画像や音楽、記念誌のページをめくるたびに北野定時制時代を思い出し、涙ぐんでいます。すごい先輩がいるなあ!えらいなあ! 改めて感動しています。

北野定時制で学んだこと・すばらしい先生に出会ったこと、そして生涯の友達と交友できたことに感謝する次第です。北辰会の数々の記録を残していただいた諸



新井さんの微笑み(5)

倍賞千恵子さん

12期 故 あらい みる
新井 實

最近、倍賞千恵子さんの歌をよく聴く。

私が歌を聴くのは車の中が多い。演歌や民謡はあまり聴かない。日本や世界の名歌といったものや映画音楽、フォークソングやニューミュージックと呼ばれるものが多い。歌手を挙げればきり





12期生 母校創立50周年記念祝賀会

がないが、岸洋子さん、島田祐子さんなどが多いし、ダークダックス、デューク・エイセスなどのコーラスも好きだし、プレスリーもビートルズも聴く。こうしてみると誰の歌でも、どんな音楽でもということになるか。

随分以前、倍賞千恵子さんの「さくら貝の歌」を聴いたときに澄んだよく伸びる声だなあと考えたことがあった。作家の五木寛之さんが彼女の歌声を「エンゼル・ボイス」と絶賛したという言い得て妙だと思う。月並みな言葉だが「透明感のある声」とはこの人のような声をいうのだろう。

彼女はSKD（松竹歌劇団）の出身だそうである。ここの養成学校で三年間ダンス、ジャズダンス、タップダンス、ギター、三味線などを学んだそうである。歌の基礎はここで習得したものだろう。

だが声は天性のものだ。それにご本人の努力もあろう。例えばこの人が「忘れな草をあなたに」と歌うときの「を」にはHの音が入っているように私には聞こえる。これは彼女が創り上げたものか、巧まずしてそうなのか分からないが、これが声に深みを与えているようだ。

彼女の歌うものは叙情歌の範疇に入るものが多い。この分野での彼女の声は効果的である。初期のヒット曲「さよならはダンスのあとで」は当時としては斬新な曲だ。今聴いても新しい。最近聞いたものに「いらっしゃい」という歌がある。方言を織り込んだユニークな作品で楽しい。彼女の新しい分野というものだろう。

私は音楽に関してはまったくの素人である。倍賞さんが聞いたら噴き出すかもしれない。門外漢の勝手な感想である。

彼女の語るところによるとSKDから松竹映画

にスカウトされ、「下町の太陽」に主演した。その主題歌を歌いこれが大ヒットして、その年のNHK紅白歌合戦に出場、それ以来歌と映画の道を歩んできたという。松竹へ入ったところは年間十数本の映画に出演したというから、大変な売れっ子だったのが分かるが、それにしても過密なスケジュールをよくこなしたものだ。思い返してみると私は彼女の出演作はあまり見ていない。若い頃のものでは「足摺岬」というのを記憶しているくらいだ。その後では「寅さんシリーズ」の何本かを除けば「幸福の黄色いハンカチ」とあと二本くらい見たのだろうか。

彼女、現在は60歳代の半ばだと思うが、若い頃の映画に見る美人の面影を残して、単に美人というだけでない、いい顔になっている。私は今の顔の方が好感を持てる。

〔私の好きな人〕

2021年06月27日 花夾竹桃 猪名川町にて
「撮影者 23期 畑地 豊」

この人あり(2)

歴史探訪

～織田信長は人材育成の先駆者か？～

かねだ よしはる
26期 兼田 吉治

松坂屋と竹中工務店の祖は信長の小姓

「松坂屋の建築は全てを竹中工務店が請け負う」と言われているらしい。その理由が、どちらも織田信長の小姓が起こした企業で400年の歴史があり、現在も強い絆で結ばれているという

のである。調べてみると、松坂屋は織田信長の小姓であった伊藤蘭丸^{すけひろ}祐広の子である伊藤蘭丸^{すけみち}祐道が“商人司”（注1）を命じられたことに始まる。蘭丸といえば、織田信長の家臣森蘭丸が有名だが、祐広も小姓役として信長に仕え、蘭丸を名乗っていた。800石を領し信長からも期待されていた人物だった。蘭丸という名前は、祐広の子である祐道も名乗っていた。親子二代の蘭丸で、どちらも信長が名付け親になっている。信長は、蘭丸の名前がお気に入りだったようである。

竹中工務店は、織田信長の家臣（禄高800石）として“普請奉行”（注2）を務めた竹中藤兵衛正高が、信長の死後二君に仕えずとして武家を捨て宮大工となり、清須で神社仏閣の建築に携わったのが始まりである。ところが関ヶ原の戦いのあと、家康は戦略上の理由から清須城の廃城と名古屋城の築城を決定し、清須住民に名古屋への強制移住を命じた。この過酷な「清須越し」に堪えた商人たちには武家出身者が多く固い絆で結ばれていた。“松坂屋の創始者 伊藤蘭丸祐道”と“竹中工務店の創始者 竹中藤兵衛正高”はその代表的存在で、両家の結束は以来400年の長きにわたる。これが「江戸時代より今日に至るまで、松坂屋の建築のほとんどを竹中工務店が請け負っている」の根源となっている。

織田信長に関する歴史研究や歴史書は数多く出版されている。これらの資料を参考にしながら、信長の独創的な思想、および前記2社の祖で固い結束を生んだ信長の小姓とその人材育成について考えてみたい。

（注1） 戦国時代から江戸時代前期にかけて諸大名の領国内あるいは城下町において諸商人の統率、他国からの行商人の取締、各種商業課税の徴収代行、定期市などの市場の開催・興行を行った特権商人。

（注2） 室町幕府など古くから武家方にみえる職名。御所、城壁・堤防などの修理造築などをつかさどる。

信長の思考の独創性

信長の思考の基礎が形成された美濃のうつけと呼ばれた少年時代の話はあまりにも有名なものでここでは論じないが、この信長のうつけは今でいう実証論的な態度を極めており、なんでも自分で実証しないと気が済まない、すべての前例を排するという徹底したものであった。これが余人にはうつけと映った。信長の転機は父織

田信秀の急死にあった。父はわずか42歳、信長はこの年、数えて18歳に過ぎなかった。その死は未熟な信長を戦国時代の渦中に突き落とし思想形成に大きな影響を及ぼした。また信長が樂市樂座ではじめた経済



モデルは当時革命的な思想であった。しかし、この革命的な経営モデルを完全に理解した後継者がいなかった。それは秀吉も家康も及ばない独創性だったと言われている。

桶狭間の戦い^{おけはざま}にも信長の思考の独創性が見てとれる。織田信長は不利と思われた桶狭間の戦いになぜ勝てたのか？

数多く研究され諸説あるが、今川軍25,000～45,000人に対して織田軍はわずか3,000～5,000人で勝利した史実を考えると、①今川義元の油断に乘じ、②今川軍は夜通し移動して疲労しているのに対し織田軍は体力を残した兵が多いと戦況を見抜き咤激励して戦意高揚させ、③悪天候という運を味方にし、④今川軍の偵察や地形調査などの情報収集を重要視し、⑤今川軍の兵力を分散させ、自軍は兵力を集中して、義元の首のみを狙う軍略を実行したこと、等が要因とされる。つまり、綿密に計略を練った上で、勝てる可能性に賭けて全力で勝負にでた信長に対して、大軍を率いたことやこれまでの経験から完全に勝ち戦と油断していた今川義元、2人の意識の差にあったと解析されている。桶狭間の戦いの後、信長は勢いを得て足利義昭を将軍として擁立し、勢力を拡大させていったことはご存じの通りである。

これらの経験から、信長はどんな不利な状況でも決して諦めず、少ない勝ち筋を見つけて勝負にでる計画性や決断力を学んだと思われる。桶狭間の戦いなど、軍事力が乏しい初期こそ少ない軍勢しか動かせなかったが、桶狭間の戦いの後からは、敵を攻撃する際には常に敵を圧倒する大兵力を動員して攻撃する正攻法の作戦を取った。桶狭間の戦いの経験を自己の思想に反



安土城跡 大手道にて

映させて発展させたものと思われる。

「比叡山焼き討ち」からも信長の独創性は見てとれる。「比叡山焼き討ち」や「石山本願寺との戦い」など仏教への弾圧姿勢は残忍な行為として否定的に評価されている一方で、中世的権威を笠に着て好き勝手なふるまいをしていた寺社勢力に対して行った弾圧が、宗教による政治への介入をやめさせ政教分離を加速させたと肯定的に評価されている面もある。更に、仏教弾圧を行いながら宣教師ルイスフロイスを始めとする新興宗教勢力キリスト教を保護する政策をとるなど、“二項対立構造”をとりつつ、イエズス会と取引をして、キリスト教保護政策と引き換えに軍事援助を受けて、全国制覇の大きな資金源にしていた可能性も高いと言われている。これらからも信長がそれまでの戦国大名とは異なり一歩進んだ独創的な思考を持っていたことが伺える。

また、信長はイエズス会が献上した地球儀、時計、地図などをよく理解したと言われる。まだ地球が丸いと知らない日本において、「理に適っている」と言っているのが、柔軟な発想の持ち主であったことも伺える。

更に、信長は城下に家臣を住まわせ、兵農分離の先駆けを行ったとされる。それまで武士たちの多くは村落に住み、自身も直接農作業に従事し、戦が起こると出陣するのが実情だった。兵農分離によって農繁期に関係なく戦を計画できる体制を構築し、弓衆・鉄砲衆・馬廻衆・小姓衆など機動性を持った強力な軍隊を創出して天下獲りの礎にしたという。このように戦に向けても独創的であった。

信長の小姓と人材育成

戦国時代の小姓には主に若年者が着いた。平時には秘書のような役割をこなした。信長の小姓は、清州城時代が5人、中間期は8人、そして本能寺で討死した小姓は23人である。信長は機密を伴う重要な使者として小姓を使うことが多かった。常に主君のそばで仕え、戦時には主君の盾として命を捨てて守る役目であったため、幅広い知識と一流の作法と武芸を身につける必要があった。権力を得るためには親や兄弟をも殺し合う戦国時代にあって、戦で屈服させて配下とした武将を動かし、天下統一に向かって自分の考えを実行するためには、自分の考えを理解し手足のように使える信頼できる人材が必要である。この類まれな思考能力者は非凡な若者を見出して小姓として育成し、活用したであろうことは容易に推測できる。小姓たちも信長のために命がけで頭脳と教養と武術を磨き仕えたことだろう。更に、多くの戦国大名は、家臣団と会議を開き、話し合いを行って行動方針や政策を決定する“集団指導体制”を取っていたのに対し、信長は家臣の意見によって行動を起こす事はほとんどなく、自分で判断し、自分で決めるという専制を行ったと言われている。この専制体制の推進も育成した小姓を活用して実践できたと思われる。これらの結果、小姓は成長すると主君の側近として活躍する者が多かった。また、先述した伊藤祐道や竹中正高のように、信長の死後、その習得した知識や技をもってその後の道を究めた者も多く居たと思われる。このように、信長は自己の目的を確実に達成するために、小姓体制を活用した人材育成の先駆者であったと思われる。

信長の性癖

見てきたように信長は非常に独創的な思考の持ち主であった。しかし、信長は自分の思っている構想どおりに事が進まぬと、物狂わしいほどに腹が立つ性癖があったと言われる。結局、信長はこの物狂わしいほどに腹を立てる性癖のために、部下からの反感を買い、裏切られ、最後は謀反で死ぬことになった。冷静なときは明晰で独創的な頭脳の持ち主も、感情を律しきれ

ず、激高的な性癖のためにその大望を達成し得なかったのである。教訓に満ちている。

性癖に関連して、本能寺の変につながる動機「怨恨説」の根拠とされる光秀の領地替えについても、領地の定義が独創的な信長と従来の恩賞と捉える光秀とで異なっていたために生じたものの説もあり、興味あるがここでは省く。

信長以降の小姓

信長の権力継承に成功した豊臣秀吉も初期には小姓を重要視したと考えられる。秀吉の小姓としては賤ヶ岳の七本槍として有名な加藤清正、福島正則、片桐且元、秀吉の養子「羽柴秀勝」の小姓として仕えた加藤嘉明などが有名である。秀吉も信長の生き様をまねて小姓を育てたであろうことは容易に想像できるが、秀吉の性格が災いして権力を得た後は人材育成を重要視せず、短命政権の遠因となったと考えられる。

その後、権力を得た徳川家康は、大名家の子弟を小姓という名目で事実上人質にとって幕藩体制を築く手段とした。その後、泰平の世となると小姓の位置付けも次第に変化をみせた。江戸時代の幕府や諸藩の職制では、秘書としての役割は側用人・側衆・近習出頭役・御側御用取次役等が担った。小姓の役割は、名目上は主君の警護だが実質は主君に近侍しての雑務や日常生活の取り次ぎが主な仕事となっていた。藩主の中には、元服したての優秀な若い藩士を小姓・側用人等に任じて、将来自分の手足として働く人材に育てる事を心がける藩主もいたが、信長ほど組織的に人材育成した例は少ない。

参考資料

- [1] 戦国武将列伝：織田信長と言う人物に迫る
- [2] Wikipedia：竹中正高、伊藤祐道
- [3] 板垣英憲：「誰でも知っている創業者のサクセスストーリー 竹中工務店 14代 竹中藤右衛門」
- [4] 歴史研究者 古賀芳郎「歴史好きのつぶやき」
- [5] 通史で読み解く司馬史観 戦国時代編「信長と光秀編」国盗り物語 司馬遼太郎
- [6] WEB歴史街道
- [7] 小和田哲男：「明智光秀と本能寺の変」

山本悦郎君が逝く (前北辰会23期幹事・ポンコツ会幹事)

23期 ^{ふくしま}福島 ^{じろう}次郎

50年以上もポンコツ会幹事

私が北野に入学して卓球部に入部した時に山本悦郎君を初めて見ました。その時に話をした訳ではないのですが、何故か彼がひとときわ光っていたのを鮮明に覚えています。3年生になって同じクラスになり山登り仲間として親しくなりました。

山本君は50年以上もの長きにわたりクラス会の幹事を務めてくれました。

23期の中野先生のクラスメンバーが中心となってポンコツ会の運営をしてきました。

会の名前「ポンコツ」はポンコツになるまで！との思いで命名したのです。

が、今はメンバーも75歳以上となり、文字通りポンコツになったのです・・・

この57年間会の運営を一手に引き受けてくれていたのが山本悦郎君であり、メンバー全員が山本君を中心に動いてきました。

2年に一度は一泊旅行を計画し、実行してくれました。中野先生（時折奥様も）を筆頭に20名前後のメンバーで大いに飲み語らったものです。山本悦郎君なくしては57年もの長きにわたる継続は出来なかったと思います。

思い出します 箕面霊園 しらびそ高原

山本君から「おれ、癌になって、しかもステー



千里万博公園にて(2019年12月2日撮影)
中央が前23期幹事故山本さん、その右 福島さん、左端 畑地常任幹事

ジ4なんだ!」と聞いたのは2015年1月31日でした。箕面霊園にメンバーの畠山真人君の命日の墓参りの時で、聞いてショックを受けたのを思い出します。それから1年後に、彼から「癌が消えた」と聞いて安堵したのを覚えています。2016年8月には私の居る上村（長野県飯田市）まで有志7名と来てくれ、悦郎君も「しらびそ高原（2000m）」での眺望を楽しんだり、夜には全員でカラオケを楽しんだことが思い出されます。

山本悦郎君のご冥福をお祈りします。

2020.12.20

*事務局 前田より

前23期幹事山本悦郎さん安らかに眠り下さい。

前23期幹事山本悦郎さんの訃報が届きました。私が山本さんの存在を知ったのは1987年の北野高等学校定時制創立50周年記念行事に関連して北辰会が再出発した頃です。33年前になります。その時、私は初めて北辰会に関わりました。

山本さんはそれより20年前から23期中野クラス会「ボンコツ会」を立ち上げられ、この会は現在も引き継がれています。

定時制同窓会活動では私は山本さんの足元にもおよびません。只々頭が下がる思いです。近年の北辰会の実情から『「ボンコツ会」も23期生全体を包む同期会に衣替えして下さい』と要請して参りました。山本さんにはやりにくい面もあった事と思いますが、体調のすぐれない中、23期幹事としてご尽力して頂きました。

畑地常任幹事さんと共に23期生の存在に貢献されました。その様子は「北辰会報」や「北辰会HP」で23期生皆様を紹介した多くの記事に掲載させて頂いております。

本当にご苦勞様でした。ありがとうございました。安らかに眠り下さい。

合掌

事務局からの報告

2020年北辰会活動について

学校人事異動

【天野 誠 新校長について】

年齢 60歳

前職場 大阪府立千里高等学校校長より

担当教科 国語

【萩原 英治 前校長について】

大阪府教育庁 教育振興室 高等学校課 参事に異動になりました。

1. 2020年幹事会議案書の取り扱いについて

2020年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け4月に予定されていた2020年北辰会幹事会は中止せざるを得ませんでした。

コロナ感染が少し収まった7月に北辰会拡大常任幹事会を開催し、2020年北辰会幹事会議案書の承認を北辰会会長特別決裁項目として決定し、会長から承認を頂きました。その結果、北辰会規約改正も承認されました。北辰会活動が継続出来る処置がとられました。

規約改正の趣旨

現在の北辰会運営で会則にそぐわないところがいくつかありました。その祭は適宜、会長、常任幹事会の承認を受けて運営してまいりました。

現在の運営に合わせ北辰会規約を改正し、北辰会の活動をより民主的でスムーズに出来るように、その場限りの活動とならないように、規約に沿って運営できるものに改定致しました。

2. 2020年北辰会賛助金運動について

12月31日までに358名の皆様から271.4万円のご支援を頂きました。これは目標額の200万円をはるかに上回るものです。厚く御礼申し上げます。

総会のなかった2016年に比べ、目標額を39万円超えましたが支援者数は63名減少致しました。北辰会高齢化から来るもので仕方ないことと思いますがご支援を依頼した方、1662名の21.5%に当たります。まだまだ北辰会は多くの方々に支えられています。

事務局は賛助金を寄せられた方、皆様全員にお礼電話やお礼の報告葉書を送らせていただきました。

会報最後に記載の賛助者皆様のお名前「賛助者リスト」、会長、事務局長の「賛助金運動お礼文」をお読み下さい。

3. 会計報告

会計収支表を巻末に掲載致しています。

主な収入は繰越金と賛助金で合計額367万円です。主な支出は会報発行費でランニングコストは91万円でした。2021年繰越金は276万で合計367万円になります。

これで2年間の活動資金を用意出来ました。

4. その他の北辰会活動について

○同期会、同好会その他出かける活動はほぼ全面的に停滞致しました。

その中で、23期の皆様には同期会幹事を先頭に目を見張る物があります。

「北辰HP」では先頭を走って頂いています。賛助金運動でも周りの期に追いついて来ました。嬉しい事です。見習いたいものです。

○「北辰会声の便り」は中途半端に終わりました。どのようにするか考えます。

5. 「北辰会HP」～北辰会の広場～について

近年3年間の各月の閲覧者数を右表に示します。各年の閲覧者数の月平均を見ると2018年が2828件、2019年が3069件、2020年が3557件、2021年の1月～6月平均は4925件となり閲覧者数は年々増加しています。更に、昨年3月以降は3300件以上を継続しており、2021年5月は過去最高の6646件に達しました。これは会員皆様からの寄稿が年々増加していることの現れだと思っています。ご協力に感謝します。

また、これらの閲覧件数はコロナ禍において多くの会員皆様に閲覧して頂いていること、および一定のリピーターの方々に継続して閲覧して頂いていると思われます。今後とも会員皆様

に閲覧して頂けるように取り組んでいきたいと考えます。ご協力の程宜しくお願い致します。

2018年1月～2021年6月の閲覧者数

閲覧月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2018年閲覧者数	1979	2062	2882	2504	2344	2489
2019年閲覧者数	3817	3042	3728	3530	3530	2739
2020年閲覧者数	2449	2347	3435	3367	3349	3373
2021年閲覧者数	3455	3838	4307	5485	6646	5817
閲覧月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年閲覧者数	3648	2409	2568	3286	4194	3566
2019年閲覧者数	2804	3024	3083	2704	2646	2609
2020年閲覧者数	3788	4234	4292	4559	3574	3919

6. 今後の対応

現在の北辰会の活動や運営は新型コロナウイルス感染症予防対策の影響で、オアシスとしての役割は減少しています。その中で、役員が機動的、組織的に活動し、皆様と共に電話やメールや「北辰会HP」をもっと活用し、会員皆様と楽しみながら絆を深め北辰会を皆様のオアシスに存在させましょう。

訃 報

恩師 野村 茂夫先生が2021年2月8日に亡くなられました。

前23期幹事 山本悦朗さんが2020年9月8日に亡くなられました。

お悔やみ申し上げます。

お詫びと訂正

昨年の会報26号で5pの「新井さんの微笑み(4)」の作者 故 新井さんの出身期は12期です。お詫びと訂正申し上げます。

編集後記

北辰会活動はコロナウイルス感染拡大の影響でほぼ全ての会合が止まりました。事務局の調子も上がらず、会報27号の発行も少し遅れました。お詫び申し上げます。

そのような中で、会長挨拶にもあるように23期の北米在住の女性会員様から北辰会へ熱いメッセージが届きました。その交流は今も続いています。

又、今回は23期の方々から多く記事が寄せられました。厚く御礼申し上げます。

幹事会、同期会、同好会の開催も出来ない中で「北辰会HP」による情報交流は大切になっています。皆様、インターネットに取り組んで下さい。

コロナウイルスワクチン接種の効果が現れ、北辰会活動も元気を取り戻して、2022年には北辰会総会・懇親会が元気よく開催できることを祈っています。

賛助者のご芳名（敬称略）

期	在籍年	氏 名	旧姓	合計額
教職員	教師	吉安 克彦		
	校長	松下 邦夫		
	教師	山田 信也		
	事務長	本田 豊殆		
	校長	足立 堯		
	職員	志水 孝		
	校長	中垣 芳隆		
教職員 集計	7名			49,000
3	昭和18卒	河地 淑		
3期 集計	1名			3,000
6	昭和21卒	須田幸二郎		
6期 集計	1名			3,000
7	昭和21年卒	河野 正		
7期 集計	1名			5,000
10	昭和26年卒	小島 博士		
10		林 茂秀		
10		多度津亮介		
10期 集計	3名			19,000
11	昭和27年卒	達富 脩		
11		中島 貞夫		
11		安東 功雄		
11		竹中 和郎		
11期 集計	4名			119,000
12	昭和28年卒	新保 誠敏		
12		紫竹 史郎		
12		津田 条次		
12		前 喜代志		
12		丸山 利信		
12		竹内 明子	亀沢	
12		田中千代子	川澄	
12		亀山 敏子	三原	
12期 集計	8名			65,000
13	昭和29年卒	油谷 純正		
13		真宮 靖治		
13		谷口 源一		
13		坂野 誠子	北浦	
13		坂野 光俊		
13		谷村 隆一		
13		畝狭 恒雄		
13		岡田 和子	木村	
13		鷹取 偉仁		
13		赤嶺 茂		
13		汐月 二郎		
13		藤原 良一		
13		橋本 榮子	森井	
13期 集計	13名			55,000
14	昭和30年卒	谷口 勝巳		
14		川野眞次郎・英子	眞次郎	
14		田辺 章子	富島	
14		岩崎 憲次		
14		渡辺佳代子	谷口	
14		篠木 精治		
14		近藤 敏雄		
14		美馬 綾子	安藤	
14		岡山伊久雄		

期	在籍年	氏 名	旧姓	合計額
14		小林 妙子	滝川	
14		永井 正昭		
14期 集計	11名			146,000
15	昭和31年卒	藤 博		
15		中牟田満麗		
15		田中 寛		
15		木村 光昭		
15		服部 哲夫		
15		戸崎 健一		
15		若山喜代子	安部	
15		松田 明		
15		谷口 真澄		
15		清水 昭		
15		長滝 才子	三次	
15		伊豆野行美		
15		川竹 博子		
15		高山 吉張		
15		三坪 玲子	中島	
15		三上 則子	越村	
15期 集計	16名			71,000
16	昭和32年卒	角田 弘子	門脇	
16		曾我 乙彦		
16		馬場 昭雄		
16		太田 友久		
16		青木 幸三		
16		四方 寛規		
16		河瀬 容子	小野	
16		菊地 博司		
16期 集計	8名			76,000
17	昭和33年卒	井上 浩良	工藤	
17		吉村 幸雄		
17		能勢 昌行		
17		水口 健三		
17		上垣内義幸		
17		佐竹 節寛		
17		錦織 忠司		
17		浅見 郁藏		
17		田中 克房		
17		東 雅雄		
17		東 和子	福井	
17		田中 希夫		
17		仲義 宏		
17		中野 勝也		
17		真田 笑子	早崎	
17		入口ユキ子	宮田	
17		水野 嘉之		
17		足立 達男		
17		馬場 弘士		
17		福井 栄		
17		稲継 秀夫		
17期 集計	21名			139,000
18	昭和34年卒	古城 具祐		
18		岡田 多聞		
18		佐藤 寅夫		
18		岩崎 洋治		

期	在籍年	氏 名	旧姓	合計額
18		中村 明人		
18		山口 克巳		
18		福井 康夫		
18		堂埜 宏		
18		三木 次郎		
18		奥里 将春		
18		西田三千子	戸田	
18		森本 均		
18		北村 暢夫		
18		矢谷 弘子		
18		出口 久三		
18		総田(かせだ)健蔵		
18		井上紀代子	田島	
18		西岡 頌祐		
18		小柳 一義		
18		杉並 正恵	江沢	
18		杉並 孝二		
18		足立 公夫		
18		清本 忍		
18		足立 武司		
18		吉形 安生		
18		金沢 勤		
18		荒木 一禎		
18		田中美栄子	満田	
18		森本 礼子	久保	
18		吉村 務		
18		山下 勝美		
18期 集計	31名			274,000
19	昭和35年卒	黄山 平一	黄	
19		山本 美徳		
19		鍵山伊三雄		
19		梶原 清		
19		内田 三郎	中西	
19		中廣ちづ子	藤井	
19		平子 浩一		
19		松井 孝次		
19		般若 寿文		
19		安光 健		
19		行澤 康恵	大西	
19		佐藤 万幸	播岡	
19		毛勝 隆司		
19		酒井熹世子	岸上	
19期 集計	14名			171,000
20	昭和36年卒	日下山隆利		
20		児玉 隆夫		
20		磯田 久子	岩本	
20		松原 芳三		
20		大賀 隆		
20		小板 信行	今西	
20		宇野 京子		
20		上辻 昇子	宮島	
20		三輪元二郎	桜井	
20		森川 勝治	難波	
20		金倉 郁雄		
20		藪 紀美子	藤井	
20		横田 潤子	白石	

期	在籍年	氏 名	旧姓	合計額
20		伊藤 淳子	田島	
20		勝部 進		
20		中本 忠彦		
20		井口 忠勇		
20		米田理之助		
20期 集計	18名			86,000
21	昭和37年卒	田井美佐子	杉山	
21		名子 妙幸	名子幸枝	
21		寺西 久栄	林	
21		萬 典彦		
21		山本 宏二		
21		山本 英郎		
21		目出 政司		
21		荒木不二夫		
21		荒木 茂子	石田	
21		矢野 和男		
21		大串 静子	矢野	
21		寺内 孝		
21		竹中 浩子	瀬川	
21		見方 京子	久保	
21		山上 恵三		
21		谷口 喬司		
21		市井 吉栄		
21		酒井金次郎		
21		中村 公俊		
21期 集計	19名			94,000
22	昭和38年卒	前田 進		
22		大野木勝昭		
22		中村 文子		
22		和 文博	大場	
22		山蔭三恵子	佐久間	
22		上野 郁夫		
22		西尾 康生		
22		桑島 明子		
22		菅 智枝子	榎本	
22		菊本 祥子	栢	
22		菊本 隆		
22		房本 光代	牛島	
22		坪田 久子	中本	
22期 集計	13名			340,000
23	昭和39年卒	orr kimi	金村	
23		畑地 豊		
23		荒木 康久	山根	
23		西野 俊子	安井	
23		小出 優和		
23		福島 次郎		
23		西阪 一裕		
23		三橋 永一		
23		貴船美佐子	川崎	
23		瀬川 泳子	星山	
23		畑 徳昭		
23		合田美代子	寺地	
23		中長 俊一		
23		金城 奉周		
23		川野 卓志		
23		志水 保子	武信	

期	在籍年	氏 名	旧姓	合計額
23		山下 直子	竹内	
23		堂本 敦子	柿本	
23		田中 悦子	村瀬	
23期 集計	19名			96,000
24	昭和40年卒	谷本 一郎		
24		伏見美知子	湊	
24		中村千代美	則包	
24		日暮ミキ子	松山	
24		前田 泰子	熊白	
24		徳永 義彦		
24		竹田 国彦		
24		松本ケイ子	貝戸	
24		吉澤 靖昌		
24		遠藤 圭子	三宅	
24		田辺 聖晴	勝	
24		山下 文誉		
24		松尾 晋		
24		亀谷 典康		
24		八田 恵子	笹野	
24		山西 清芳		
24		宝田 育胖		
24		坂本 成男		
24		播岡芙美子	赤川	
24		四良丸弘志		
24期 集計	20名			83,000
25	昭和41年卒	横谷 良勝		
25		佐伯 弘夫		
25		原田 善造		
25		西村喜美江	玉置	
25		中村 光夫		
25		前田 直人		
25		宮脇 茂之		
25		前田 正雄		
25		上地利恵子	与那嶺	
25		西谷 和美		
25		岸下 富盛		
25		野田 豊子	米田	
25		有本七智子	安田	
25		高田 保		
25		片田 明		
25		森 泰造		
25		堀江 紀子	池田	
25		白石 政利		
25		吉岡 伸二		
25		宇治 靖みどり		
25		西田 隆助		
25		板脇百合男		
25		辻井 治		
25		前田 和子	谷垣内	
25		中村ひろみ	前島	
25		斎藤 陽子	柴田	
25		井上 夏代		
25		今村久美子	増井	
25		浅見 友造		
25期 集計	29名			170,000
26	昭和42年卒	直嶋 正行		

期	在籍年	氏 名	旧姓	合計額
26		兼田 吉治		
26		小河原京子	坂本	
26		宇羅 恒雄		
26		高畑 勝治		
26		西田 成子	沖津	
26		梅谷 武		
26		中島 賢治		
26		三木千代子	中	
26		松本 重徳		
26		猪之良 登		
26		吉永 満輝		
26		田中 三男		
26		仁張 啓子	竹内	
26		桑名 耕治		
26		小池 貞男		
26		斎藤 祐亮		
26		古本 永男		
26		井口 勝治		
26		井口 伴子	平井	
26		中村 謙一		
26		根岸 良吉		
26		半田フサ子	大泉	
26		松本 和子	吉本	
26		藤原 政枝	東山	
26		小谷 健蔵		
26		大内 清		
26		耳塚美奈子	後藤	
26		角山千賀子	石田	
26		呉山 翠	坂本	
26		徳田 文子	杉本	
26		合田マリ子		
26		栗本 俊彦		
26期 集計	33名			191,000
27	昭和43年卒	堀川 美鈴	葛西	
27		城内 豊和		
27		福山 進		
27		高地 国雄		
27		中村 勇		
27		才村 光世	正清	
27		木村 克彦		
27		渡部 孝彦		
27		寺下 紀男		
27		小竹 絹代	井上	
27		安達 清治		
27		岡本 和幸		
27		岩井美智代	新川	
27		後藤 和代	足立	
27		三木 洋治	前島	
27期 集計	15名			60,000
28	昭和44年卒	竹本 久子	五十嵐	
28		高木 恒夫		
28		井上 啓子	加藤	
28		李 利江	松岡	
28		近藤 静代	川島	
28		愛川 昇		
28		宇良 浩		

期	在籍年	氏 名	旧姓	合計額
28		中村 良人		
28		香川 和夫		
28期 集計	9名			50,000
29	昭和45年卒	竹本 治男	酒井	
29		並河賢一郎		
29		並河えつ子	三池	
29		平沼 富子	竹中	
29		村上 博章		
29		植村 勝男		
29		松比良通義		
29		馬場田保子	木村	
29		森山 博		
29		岡野 泰子	林	
29		松田 秀樹		
29		松田 静代	浜屋	
29		林田富士夫		
29		林田 定子	河野	
29		堀本 慶子	森川	
29		徳永 幸枝	金	
29		山下 恵子	川崎	
29		山片美和子	岸田	
29		石賀 栄子	盛岡	
29		窪田みどり	岡山	
29		江端 和子	青谷	
29		福田 幸次		
29期 集計	22名			193,000
30	昭和46年卒	早川富美子	沢村	
30		堀田 征和		
30		塗家 栄子		

期	在籍年	氏 名	旧姓	合計額
30		板井 保子		
30		田中忠八郎		
30		山口 富子	堀北	
30		村山タツエ	松原	
30		田野希代志		
30		岡田 敏子	成相	
30		赤澤 保		
30期 集計	10名			56,000
32	昭和48年卒	沖 秀恵		
32		原田 勝		
32期 集計	2名			15,000
33	昭和49年卒	中島 卓郎	坂部	
33		久保 真澄		
33		中田 由美	宮島	
33期 集計	3名			19,000
34	昭和50年卒	小嶋 薫	大和田	
34		上村 典子	松永	
34期 集計	2名			23,000
35	昭和51年卒	高橋 久子	坂本	
35期 集計	1名			3,000
37	昭和53年卒	野村 勉		
37		勝井 道子		
37期 集計	2名			21,000
61	平成14年卒	豆谷喜代治		
61期 集計	1名			3,000
62	平成15年卒	千賀 茂世		
62		伊藤 正三		
62期 集計	2名			16,000
総計	358名			2,714,000

2020年12月25日

2020年「北辰会賛助金」運動、大幅に目標額達成致しました 会員皆様へ感謝を込め、お礼とご報告を申し上げます

北辰会会長 岡 田 多 聞
北辰会事務局長 前 田 直 人

全世界を震撼させ続ける新型コロナウイルスは、東京、大阪をはじめ大都市での感染者数が再度増加し続けている今日この頃、皆様の生活は如何でしょうか。

日頃から北辰会活動に、ご理解とご支援を戴き厚くお礼申し上げます。

先に、ご協力とお願いを進めて参りました「北辰会賛助金運動」へのご支援は343名もの賛助者の皆様から、総額259万6千円に達しました。

目標額200万円をはるかに超えるご支援に執行部一同は感謝と感激を致しています。厚く御礼申し上げますと共に、ご報告申し上げます。また、数は少ないですが賛助金は年末まで届きました。「北辰会報」を長くお手元に置いて頂いたことに感謝申し上げます。

今回の賛助金運動の特徴は下記のとおりです。

今回は2016年「北辰会賛助金運動」と目標額、依頼額を同一設定でお願い致しました。その結果、賛助金額では40.8万円上回りました。

支援者数は2016年に比べ63名減少致しました。これは会員の高齢化が進む中、体力の落ちてきている北辰会では予想されることでした。

支援者数が減る中、賛助金額が目標額を大きく上回ったのは、30万円を含む9万円を上回った方5名、2万円～8万円の方10名、9千円～1万円台の方57名、と従来に比べ多額の賛助金をお寄せ下さった方が多数おられた結果です。

この要因は、北辰会の資金に余裕が無くなった事を考慮して賛助金を増やして頂いた事や、国からのコロナ対策特別定額給付金などが考えられます。しかし、そのベースは皆様の北辰会に対する熱い想いの表れと思っています。

しかし、北辰会の前途は参加して頂ける会員の高齢化の問題など、どう見ても厳しいものがあります。私達執行部は皆さまに元気を与えられるようなオアシスとしての北辰会を維持する覚悟で活動を進めて参ります。

今回の賛助金運動により2022年北辰会総会・懇親会迄の活動費を頂くことが出来ました。重ねてお礼を申し上げます。今後の北辰会活動に大切にに使わせて頂きます。

また、北野高等学校へ在籍された3名の校長先生を含む7名の教職員の皆様から熱いご支援を賜りました。お礼と合わせてご報告致します。

以上